

第312回:怒って帰っちゃった

国語のテストです。問題:■の中に正しい漢字を入れなさい。「■肉■食」。もし腹が減っている時、こんな問題が出たら思わず「焼肉定食」と回答するだろう。○か×かは採点者の度量次第だ。同様に「モランボン」と聞けば、多くの日本人は「焼肉のたれ」と思うだろう。もちろん、それで間違いではないのだが、モランボンは漢字で牡丹峰と書き、北朝鮮の首都平壤の郊外にあり、朝鮮八景の一つの景勝地である。むかし、ここに平壤の北を守る要塞が置かれており、文禄の役では豊臣軍が占領、日清戦争では立見尚文少将率いる朔寧支隊がここを突破して平壤を落とした。原田重吉の玄武門破り、と云っても誰も知らないか……。

それから120年後の今年、北朝鮮の女性ポップグループが中国を訪問したものの、公演をキャンセルし、突如帰国する大椿事が発生した。報道された事実をつなぎ合わせた概要は以下のとおり。

12月9日:金正恩第一書記の肝煎りで結成された女性ポップグループの「モランボン楽団(総勢10数人)」が、男性コーラス「朝鮮人民軍功勳国家合唱団」と共に、総勢100名以上で平壤を発ち、列車で北京に向かった。

訪中団の最高責任者は、労働党宣伝扇動部の**崔輝**第一副部長。平壤駅頭には**金己男**党中央書記や、文化相、保健相、北朝鮮駐筭中国大使等が見送った。

10日: 一行が北京到着。当日、中国の**宋濤**中央対外連絡部長(中聯部長)が代表団と面談。

11日: 公演会場の国家大劇院でリハーサル。12日~14日まで公演し、15日に帰国の予定だった。

12日: 午前、**宋濤**中聯部長が一行の宿泊する民族飯店を訪問。

午後、**王家瑞**前中聯部長が訪問。

午後、一行は高麗航空で北京を発ち、帰国。

本来、中国と北朝鮮は朝鮮戦争以来の「血の友誼」で結ばれた最友好国である。その両国の友好関係が、北朝鮮による改革派の粛清や、核開発等で大きく軋んでいる。**金正恩**第一書記が2011年に最高指導者に就任し、その1年後に中国でも習近平時代が始まったが、両国の最高首脳はまだ一度も顔を合わせていない。これは異常事態だ。これまで**金**第一書記に面談したことがある中国の指導部は、**李源潮**国家副主席(政治局委員)と、**劉雲山**政治局常務委員くらいしかいない。

そんななか、若い感性の**金正恩**はミニスカートにハイヒール姿のポップグループを北京に派遣し、両国間の雪解けの演出を狙ったようだ。中国側もこれに応え、3日連続の北京公演が予定されていた。但し両国間の微妙な政治関係もあって、約1万枚のチケットは全て内部に配られ、一般販売はされなかった。

今回のドタキャンの理由は明らかにされていない。中国国営の新華社は、ぶっきらぼうに「12日より予定されていたモランボン楽団の公演は実務上の意思疎通の問題で実施できなくなった。中国は中朝文化交流を重視しており、両国が引き続き協力し、文化面をはじめとする各領域での交流合作が発展することを希望する」とコメントしている。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

中国が「実務上の意思疎通が原因」と認めたとおり、なにかトラブルが発生し、北朝鮮が激怒して帰国したのは間違いない。

慌てふためいた中国は、12日朝に**宋濤**中聯部長がホテルに駆けつけて説得を試みたが、うまくいかず、午後には前任の中聯部長で、北朝鮮に強いパイプを有している**王家瑞**まで担ぎ出したが、北朝鮮の怒りは収まらなかったようだ。因みに中国には外交活動の主管部署が、国家の外交部と共産党の中聯部と二つあり、中聯部長は外交部長と同格のポストである。

両国仲違いの原因として、一つ思い当たるニュースがある。楽団が北京に到着した当日、北朝鮮国営の朝鮮中央通信は、**金正恩**第一書記が視察先で「いまや我が国は自衛のための原爆や水爆の爆音を轟かすことができる国だ」と話したと報じた。これに対し、中国外交部の女性報道官が「中国は朝鮮半島の非核化実現と、対話と交渉を通じた問題解決を一貫して主張している」と発言した。これは売り言葉に買い言葉だ。これを聞いた北朝鮮の指導部が激怒した可能性は大いにある。

韓国の報道によると、北朝鮮は当初、**習近平**国家主席や**李克強**首相クラスの公演会出席を要求したが、中国側はこれに応じず、党中央の政治局委員（序列第9位～25位）の誰かが参加することで妥協したと云う。例えば文化・教育担当の**劉延東**副首相か、外交活動を統括する**李源潮**国家副主席あたりかな。ところが「水爆発言」で、中国側が態度を硬化させて、出席者を副部長級（次官クラス）にドカンと降格させ、これに北朝鮮がブチ切れ・・・真偽不詳だが、メンツが全ての中国や北朝鮮では、あっても不思議はない。

最も可能性が高い原因は、新華社が報道したように「実務上の問題」だろう。北朝鮮は中国の弟分としてプロパガンダの国だ。モランボン楽団のおねえちゃんたちは、単にミニスカートにハイヒール姿で、鼻の下を伸ばした中国の高官を喜ばせるだけでなく、国威発揚の演出を命じられているに決まっている。その中には当然親子3代にわたる北朝鮮の歴史や祖国愛だけでなく、核開発やミサイル発射を賛美する歌が含まれており、金正恩の画像も登場するだろう。これに対して、中国の政府高官が賛意のスタンディングオベーションするわけにはいかない。だから中国側もなんとか歌詞と演出方法を少し修正願えませんかとお願ひしたが、北朝鮮側がこれを拒否し、キャンセルにつながったのでは。報道によると中聯部は北朝鮮代表団との面談写真をサイトから削除し、会談記事も削除して、「宋部長が崔副部長と会った」の一文だけが残されたとか。ドタキャンに対する中国側の不快感の表明には違いないが、まるで子供のケンカだね。（了）

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成27年12月15日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

